

◆東京同友会文京支部2010年度 第2回6月幹事会報告書◆

開催日：6/1(火)18:30~21:00 会場：文京区民センター3階 会議室D

次回三役会 6/29(火) 於 コンサルタント朋友

文京幹事会 7/6(火) 於 区民センター 3階 会議室3-B

参加者：越川 佐久間 奥長 新井 森下 石渡 田川 山形 佐藤 小池(事務局)(計10名 順不同・敬称略)

司会：越川

冒頭、支部長挨拶がありました。内容は以下のとおりです。

新しく 文京支部長になった 奥長です。

未だ、世界同時不況の影響から抜けきれず、日本の中小企業は厳しい状況が続いています。

しかし半面、明るいきざしも生まれはじめています。政府が中小企業憲章制定に本腰を入れはじめました。5月13日に公表された政府案が、現実に中小企業憲章として制定されまでに、まだ相当の紆余曲折が予想されます。しかし中小企業に光が当たる時代が近くまできていることは間違いないことです。同友会が以前から主張していたことが、実現に大きく近づいていると考えてよいでしょう。

今こそ同友会の真価が問われる時代になったと感じています。

このような時には、原点に立ち帰ることが大切です。

支部長として、文京支部会員の皆様に、次の三つを呼びかけたいと思います。

1. 自己の経営を必死に守る  
社員と手を組んで、売上を確保し、経営を維持発展させる
2. 文京支部の会員同士、お互いの手を貸し合う  
必要な情報を交換し合う  
相手の経営にとって役に立つ情報を提供する  
会員が助けを求めた場合、積極的に応援する
3. 文京支部の為に何かを行なう  
幹事の方は幹事会に出席し、討論に加わる  
会員の方は文京支部のどれかの委員会に参加し、  
活動する例会、その他の行事に参加する  
知り合いの経営者を同友会にさそう

文京支部として例会、おじゃまします等その他、毎月開催している幹事会の後半をオープンにして、会員の経営課題に関する情報交換の場にしたいと思います。

この一年間、楽しくかつ役に立つ文京支部をつくっていきたいと思っています。

支部会員の皆様のお力を是非お貸し下さい。

(HPにも掲載されておりますので、ご確認ください。http://doyu-bunkyo.p-web.biz/)

【報告事項】

※報告事項については事前資料の配布を致しました。ご確認をお願いいたします。

1. 会勢 6月1日現在

文京支部期首 64名 東京同友会 2039 (期首2040名 6月末退会が30件近く)

2. 各部会/同好会報告

理事会・協議会・委員会など

・理事会報告 ※資料1

■報告事項は全体に関わることのみとし、それ以外はe-doyuで報告。討議の時間を確保することが今回より始まりました。

■各理事が今年度のテーマについてそれぞれ報告しました。

■テーマは今年度の重点課題、全体に関わる重要事項、企業づくり、政策、組織・支部関

係で適宜設定することとなりました。

■組織検討プロジェクトが設置されました。

・西部協関係…西部協議会幹事会・総会報告 ※資料2

■6月に予定していた新会員オリエンテーション（文京支部担当）は7月20日（火）に開催

・第18回経営研究集会について※資料3

■大会キャラクターの決定

■記念講演折衝について マクドナルド原田泳幸氏、国際会議のため×。第二候補であった「でんかのヤマグチ」山口氏を推薦・承認されました。

■部門別討議が開始。各部門ごとに討議されました。内容は資料にあるとおりです。

・同友会研修

■支部幹事を中心に同友会の歴史や目指す企業づくりなど研修

■文京支部からは夏目氏 根橋氏が参加

・文京支部支部内委員会報告

退任支部長を報告者に特別例会が開催されることとなりました。

日時：7/14 18：30～ 会場 アカデミー茗台 洋室 懇親会場 庄や茗荷谷店を予定

例会委員会 ※資料4 打ち合わせ報告

■西部協議会例会（中野）の報告

参加者27名 経営計画の重要性について自社の経営体験も踏まえての報告がありました

■文京支部例会の企画について

7月・9月・11月・2月に開催を予定 テーマ・報告者は資料にある通りです

組織部 ※資料5 打ち合わせ報告

■新会員オリエンテーション（7月20日）の設営

■組織部企画について資料5にある内容が報告。承認されました。

支部長一泊研修 ※資料6 支部ビジョンシート

■各支部支部長の交流と支部活動の長期展望をテーマに交流

■支部ビジョンシートを作成したことが報告されました。

・政策・渉外部 ※別冊資料 討議事項で報告も兼ねる

討議事項 （19：10～20：50）

1. 幹事会のすすめ方

■特に異議もなく、下記の通り承認されました。

1) 幹事会は討論を中心にする

報告事項は事前にメールで流す

幹事会資料書面での報告もありうる（読み上げはナシ）

2) 幹事会 18：30～20：50を原則とする

3) 幹事会として決めるべき事項の討議（18：40～19：10 （30分間））

4) 毎回テーマを決めて討論を行う（19：10～20：00 （50分間））

1週間前の三役会でテーマを決める

6月度 中小企業憲章（その2）

予定 7月度 若手経営者が活躍する支部

8月度 会員増強

5) 幹事会の後半（20：10～20：50 （40分間））

拡大幹事会として幹事以外の支部会員の参加歓迎

毎回3名の幹事から経営課題報告を聞く

1人10分間、事前に指名しておく

## 2. 6月度討論テーマ

中小企業憲章（その2）※別冊資料参照のこと

1) 5月度幹事会での記入シートについて（※資料1）

2) 5月度幹事会以降の動きについて報告

①5/13中小企業憲章政府案発表 パブリックコメント募集（※資料2）

②同友会文京支部としてパブリックコメントに参加（※資料3）

③中同協第二次案発表（正式決定は7/8・9中同協総会（大分）にて）（※資料4）

3) 他団体との懇談会

①文京区経済課長との対話（6/2 15:00～）

②「私たちは中小企業憲章についてこう考えます」（案）（資料5）

4) 討論

■憲章という理念は、実益がどうということではなく理念として議論するべきではないか

■「国民が」中小企業の意義を評価することが大切ではないか

などの意見が交換されました。

## 3. 経営課題報告 森下氏

森下氏より自社（有）ユタカサービス）の現状と課題について報告がありました。報告の要旨は以下の通りです。

現状

現在、ビルメンテナンス部門の売上がピーク時の7割程度に落ち込んでいます。

原因としては社内不和・営業活動の低迷。そしてなにより、氏自身が仕事を増やすことに後ろ向きであったことです。

対策

1億円の年間売上高目標をたて、経営計画・長期計画の策定と実践することとしました。

現場担当者も営業マン。良い仕事をとおして信頼を重ねる従来のやり方を研修で強化する事はもちろんのこと、現場から上がってくる営業情報の収集整理・協力会社などからの紹介などを取りこぼさずに仕事を増やすことにつなげます。

また、これまで年1回だった社内研修の回数を年2回に増やし、サービスの質を向上します。

人員の交代が進んだことも追い風。

以前は引退することだけを考えてきたが、後ろ向きな会社を継ぐ次ぐ人はいない前向きな会社にすることでよい後継者が現れることを期待している。

売上1億円という数字の根拠についてなどの質問がだされました。

また、感想として「自社と状況と報告を重ねて聞いていた。多くの気づきがあった、胸が熱くなった。」との声も多く聞かれました。

## 2010年度 経営体験例会 年間企画一覧

日程・キーワード		体験報告者候補			担当者
	月 日( )予定	第一候補	第二候補	第三候補	
7月	テーマ・キーワード 地域密着の営業展開	彌彦工務店 代表取締役社長 児玉達郎氏(杉並支部)			
	月 日( )予定	第一候補	第二候補	第三候補	
9月	テーマ・キーワード 販売代理店から商品開発をするメーカーへ	(株)計測技術サービス 代表取締役社長 清 良平氏			
	月 日( )予定	第一候補	第二候補	第三候補	
11月	テーマ・キーワード 事業承継				
	月 日( )予定	第一候補	第二候補	第三候補	
2月	テーマ・キーワード				
	月 日( )予定	第一候補	第二候補	第三候補	